

1. 今回の行った内容でどんな内容が印象に残りましたか

(学校組織づくり)

- ・ボトムアップ型組織作り
- ・学校組織づくり
- ・ボトムアップを確実にしていく必要性
- ・生貝先生のデータに基づいた対応
- ・新しい時代の組織づくり
- ・コアメンバーで話し合うなど教員の組織づくりをしっかりとすること。
- ・コロナ禍における管理職・ミドルリーダーの在り方。
- ・役割を全うするために、多大な努力と決断が必要であると思いました。そして遂行するためには、日頃からの人間関係づくりが重要であることにも気づきました。必要とされる人であると同時に必要とする人を大事にしたいと思います。
- ・教師集団の協働をつくるのが、学校を創ることになると改めて気づかされました。それぞれの立場で、協働づくりの視点があることがわかり、勉強になりました。自分の実践に向けて刺激を頂きました。
- ・コロナが始まった頃の管理職の具体的な動き、取り組みをたくさん聞いてよかった。当時を思い出しました。
- ・教員の関係性づくり、校内の組織づくりという点から、佐藤先生のご発表が大変印象に残りました。

(リーダーシップ)

- ・何をやっても批判される時代のリーダーシップです。
- ・トップのリーダーシップのあり方と、ミドルリーダーのリーダーシップのあり方、人間関係形成の質と方法について
- ・校長のリーダーシップ、決断力、判断力
- ・校長先生の意思決定
- ・特に心に残ったのが、リーダーシップには責任が伴い、それができるかできないかで学校経営が変わってくるのだと感じました。
- ・生貝先生の教員としての経験が、校長としての決定に差をもたらしたということに強く共感しました。
- ・生貝先生の判断力、決断力により、この困難な中でも学校が大きく変わった姿に感銘を受けました。素晴らしい研修の機会ありがとうございました。
- ・生貝先生の「校長の意思決定」のお話が印象に残りました。覚悟がないと管理職は務まらないと思います。誰にでもいい顔をする人には、管理職は向いていないと思います。
- ・コロナ禍のリーダーシップについて、コアと個別のかかわりの実際
- ・1 校長として強い意志でリードしていかれたこと。2 生徒指導加配としてチームのつながりを粘り強くリードしていかれたこと。
- ・校長の決断の辛さと責任。加配がもらえる学校はとてもうらやましい。

(実践事例)

- ・お二人の先生の話が具体的でとても分かりやすかった。佐藤先生の実践報告は、是非自分の学校でも活かしていきたい。
- ・具体的実践事例に触れることができたこと
- ・生貝先生の生々しい体験、佐藤先生の役割の意義を感じました。
- ・どちらも実践が素晴らしかった。
- ・しっかりデータを示して、自分の考えを伝えていくことの大切さを生貝先生の発表から感じました。すごく納

得できる内容でしたし、発表をする立場としても大変参考になりました。

- ・佐藤先生の実践が素晴らしいと思いました。強いリーダーシップ、見通しと確信をもったプランなどもっともっとお話をお聞きしたい気持ちになりました。具体的な内容もちろんですが、紹介して下さった活躍に至るまでの苦労や工夫もぜひお聞きしたかったです。
- ・担任外に在籍し学校全体を手厚くみていく好江先生のポジションが、どの学校にもあるといい。校内に常駐していると頼りになる。特に今は必要だと思う。

(非認知能力)

- ・WEBQUの学級経営の連携、また、非認知能力のつながりについて

(新たな発見)

- ・グループ討議 アイチェックからQU変わった学校があることを知った
- ・現在の勤務校では、学級経営の安定により、保健室の利用者が確実に減ってきています。※不登校は1パーセント。しかし、学力は高まっていません。UA2割、OAI割。その原因が、分かったような気がします。

(その他)

- ・お二人の発表が大変参考になりました。
- ・お二人の内容ともになかなかお聞きできない深いところまで伺うことができたこと、大変うれしく思いました。具体的でとても参考になりました。このエネルギーにも驚くばかりです。ありがとうございます。
- ・大変、タイムリーな内容で参考になりました。ありがとうございます。
- ・河村先生からのアドバイス
- ・QUの結果を見ながら、個人的に関わって、解決の方策を練るということ
- ・決断にあたっての行政との調整の重要性
- ・①危機の時の校長のリーダーシップの重要性—前例や他の学校と足並みをそろえているだけの校長では、リスク時の対応が遅れてしまう。②佐藤先生の取組のオプションの多様さに感嘆しました。
- ・不登校対策、チーム対応
- ・教職人のメンタルヘルスも大事です。
- ・河村先生の教育界は今後大きく変わるとの話
- ・校長としての決断、これまでの経験からくるものなど考えさせられることが多かったです。
- ・子どもたちの命を預かっている学校、安全・安心を優先に運営していくこと。
- ・河村先生がおっしゃっていた「優先順位をつけること」「取組はシンプルであること」そうでなければ、先生方が疲弊してしまうことになる。そうなると、学校が崩壊してしまうことになりかねないと思いました。
- ・共通の指標で、共有できる方法を持ち、協働していくことが大切だと、改めて学びました。
- ・優先順位を決めてシンプルに取り組むこと。子供のために協働していけること。
- ・佐藤先生のQUを学校に根付かせる取組。河村教授の学習意欲は自律的なもの（内発的動機？）が印象に残りました。
- ・生貝先生のお話では、管理職の「決断」の重要性というものを改めて知りました。学校の中で、ある意味1番孤独なのは校長先生なのだと思いました。SCとして、その視点でも管理職とかかわれたらいいと思います。
- ・本当の学習動機に繋げるために、本気の授業改善が必要と反省しました。非承認群に解離型の大学生が増えてきたという点、高校生でも実感します。
- ・コロナ禍で世の中全体が変革を迫られていることや誰もが不安を抱える可能性があること、子どもを守る一助を教育が担っていることが印象に残りました。またS.Cでもできる小さなケアや行動化するQ-Uの関わりのスキル（自主性・積極性）が改めて大切であることが印象に残りました。
- ・～型にとらわれず、誰が何群に入っているかを押さえること。クラスの強み、弱みを見つけ、対策を考えることが大事であること。

2. 今回の行った内容のほかに、どのようなことを聞いてみたいですか

(チーム連携)

- ・チーム連携の成功例と部下からの話
- ・研修によってこない不安定・拡散型の教師への対応策

(WEBQU・QU)

- ・QUの学校での活用方法 QUをどのように学力向上に生かすか
- ・WEBQUについて、更に詳しく知りたい！
- ・QUの管理職の活用
- ・webQU
- ・これからの学校づくりに生かすWEBQU
- ・QUと学級経営について
- ・WEBQU実践校からの発表

(コロナ禍)

- ・コロナが教育に与えた影響について
- ・他の方のコロナ対応についても聞いてみたいと思いました。

(講師のための学級経営コンサルテーションガイド)

・学習意欲を高める取組について、うかがいたいです。また、『講師のための学級経営コンサルテーションガイド』『学級集団づくり／学級崩壊の変遷』を使った研修を受けたいです。資料がそのタイミングでしか手に入らないとうかがいましたので。

(話し合い)

- ・さらに話し合いを増やせると良い。
- ・いろいろな先生方と話ができることが何よりエネルギーをいただけます。
- ・学級経営心理学会の先生方と繋がれる内容であれば、嬉しいです。

(その他)

- ・実践例
- ・非認知の技はどうやって先生達と児童たちのストレスを減らすか。
- ・解離型の生徒、漠然とした不安を持ち辛さを語れない生徒への対応のヒントがいただきたいです。
- ・自律性を育てる授業づくり，学級集団づくり

3. その他、ご意見・ご要望等がございましたらご記入ください

(その他)

- ・初めて参加しました。Zoom研修だったので気後れせず参加できました。また、参加したいと思います。
- ・会を運営いただいた事務局の先生方ありがとうございました。とても勉強になる学習会でした。今後もよろしくをお願いします。
- ・大変勉強になりました。行動に結び付けていきます！ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。今回もたくさん学ばせていただきました。
- ・毎回、勉強になります。

- ・お二方の貴重なご発表でしたのに、コロナ対応で失礼な場面がありました、ご容赦ください。具体的な内容で、私の今の学校運営に助けになることばかりでした、感謝いたします。
- ・素晴らしい内容、具体的な河村先生の指導がとても良かったです。ありがとうございました。
- ・お二人の先生、そして河村先生の熱いお話が聞けて刺激になりました。
- ・本日の研修会、大変ありがとうございました。危機対応での学びが沢山ありました。
- ・いつもありがとうございます。田舎でも学ぶことに幸せを感じます。
- ・本日も研修会の企画、準備、運営ありがとうございました。
- ・河村先生が最後にお話しされたように、コロナ禍で自粛生活が続く中において、月1回でもオンラインで皆様と一緒に学習をさせていただけるのは本当に楽しいですし、学習意欲が高まります。今後も継続をよろしくお願ひします。